

【編集元】衆議院議員中川正春事務所

E-mail:nakagawa@cronos.ocn.ne.jp

三重／〒513-0801 鈴鹿市神戸 7-1-5 TEL:059-381-3513/FAX:059-381-3514

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 519 号室 TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

○地方議会選挙は、手堅い勝利

今春の地方議会選挙で、三重県では、三重民主連合はじめ私たちの仲間が県議会、市議会ともに手堅い勝利を得ることが出来ました。皆さんには、力強い応援をいただき、感謝申し上げます。特に、県議会の「新政みえ」は、最大会派を維持し続けることが出来ました。時代の変化に対し、新しい感覚で三重県の課題に挑戦してくれることを期待します。

次は、7月の参院選です。三重民主連合に結集した私たちの仲間が、安倍政権に対するもう一つの選択肢「平和と共生の社会」を目指し、「よしの正英」候補の必勝に向けがんばります。

○幸福度ランキングと日本社会の転換点

毎年3月に発表される、国連の世界の国々・幸福度ランキング、評価の基準は、人口当たりGDP、社会的支援、健康平均寿命、人生の選択をする自由、ジェンダーの平等性と、社会の腐敗度です。これらは成熟した社会になって、初めて実現できる指標です。今年、日本は58位。OECD諸国でも最下位レベルで、2015年の46位から安倍政権の下で、毎年下がり続けています。そして、上位の国は、フィンランド、デンマーク、ノルウェーなど北欧の国々とスイス、ニュージーランドやカナダなどです。

日本は、まだまだということになります。特に日本では、「人生の選択をする自由」と「ジェンダーの平等」のランクが低いことが問題とされています。

人生の選択には二つの見方があります。一つは、仕事、家庭、それ以外に自身のやりたいことが、同時に実現できる環境ができていますか。仕事一本やりだけでなく、子育てや家庭、趣味などの時間が確保されているか。さらには、自分の持っている可能性を仕事だけでなく他の世界でも充実させて行くことのできる環境が確保されているか。これが第一の課題です。もう一つは、一度歩き始めた人生を、リセットしたいと考えるときに、やり直しのできる環境が確保されているかということです。先進国に比べると、日本ではまだまだだな、という実感は否めません。

だから、働き方を見直し、特に、時間を短縮して家庭や

他の生きがいに使える機会を広げよう。大学などには、リカレント教育を推進して、一度社会に出た人々がもう一度学び直したり、資格取得のチャンスを得られるような政策を進めよう。男性も育児休業の取得があたりまえの環境を整えよう。同じ仕事であれば賃金を均等にしよう、等々、具体的な政策課題にたどり着いていきます。私たちは、民主党時代から、こうした政策課題を上位の優先順位に位置づけてきました。

一方で、資源の配分という課題があります。アメリカの例が警鐘を鳴らしています。激しい競争原理至上主義に基づく社会の価値観。その上に、近年広がってきた経済格差と政治的分断の拡大がベースとなって、アメリカ国民を銃犯罪や薬物に駆り立てるといいます。

日本にとっても他人ごとではありません。格差の拡大は大きな問題です。資産運用によるキャピタルゲイン税の引き上げ。所得税の累進課税化。企業負担を前提とした子供手当、教育無償化など福祉関連保険制度の充実。男女の賃金格差を解消し、最低賃金を上げることでひとり親家庭などの貧困克服。年金制度運用の改革で無年金者や国民年金などの低所得老人層の下支え等…。自由市場の失敗で格差が生まれているとすれば、政治政策の仕組みで、偏った富の再分配をすることが社会の安定と成熟につながるということも、私たち民主党に根っこを持つ仲間の基本政策です。

国連の世界幸福度ランキングが求める指標は、世界成熟社会ランキング指標だと思います。日本も、頭を切り替えて、発展途上国型社会の理想から、成熟型社会の理想へと脱皮していくことを目指していくことだと思います。

○地元行事 政経セミナーの開催

6月24日(月)17時より、四日市の都ホテルで政経セミナーを開催します。今回は、政治評論家の手嶋龍一氏をお招きし、これからの政局の在り方を皆さんと一緒に考えます。

参加には会費を2万円いただくこととなりますが、私の政治活動へのご寄付もかねてご協力をいただきたく、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。